

月刊
JMITU

オタクカ



4月号

日本金属製造情報通信労働組合大田地域支部
セガ グループ分会 2019年発行

No.412

2019年春闘賃上げ・一時金回答

評価給テーブルは昨年同様

夏季一時金は係数2.0

4月2日私達労働組合は、会社と団体交渉を行い、春闘・夏季一時金要求に対する会社の回答がありました。

賃上げについては

SHD (一般平均)

1. 57% (昨年1. 65%)

昇給合計 5407円

平均年齢41歳

SIC (一般平均)

1. 59% (昨年1. 65%)

昇給合計 5205円

平均年齢38歳

SLS (一般平均)

1. 42% (昨年1. 47%)

昇給合計 4846円

平均年齢43歳

昨年同様の評価給テーブルですが昇給率は昨年より下がっています。

これは年齢が上がることによる年齢給の額が減っていくのと、資格の上限に達している人達の昇給がないことが原因です。

会社「業績としては良くないが

10年前の悪い状況とは違う

ということ、夏季一時金は係

数2.0です。SICについて

営業利益が確定し、増益であら

ばインセンティブを支給する。

夏季一時金

係数2.0 (一般平均)

SHD 705573円

SIC 668209円

SIC 668209円

SLS 702893円

支給日6月14日(金)予定

組合「4月早々に里見社長、岡村社長のメッセージがありましたが、その内容を見てみると本当に将来が大丈夫なのか不安になる。」

会社「大丈夫です。」

組合「在宅ワーク対象について

SHDのみなのか？」

会社「SICの一部開発も検証

中で6月まで行い良ければ導

入する。セキュリティ面が危惧

するところ。」

組合「組合アンケートの要望で、

時短勤務にもフレックスを導

入して欲しいという要求があ

るが会社として何か考えてい

るのか」

会社「時短フレックスについて

は検討している。時短ではなく

通常フレックスにする事も可

能、ひと月の所定労働時間満たない部分を引かれるという方法もあるが、コアタイムを守ることも時短勤務より負うことになります。」

組合「SIC大崎に異動しましたが、机の隣や後ろの幅が狭いという問題について」

会社「カナルや横浜の時と比べたら狭いかもしいれない、椅子についても開発の椅子と揃えた為、少し後ろが窮屈になるかもしれないませんが、リーススペースなどを有効に使い、臨機応変に対応して欲しい。」

一時金について、過去9年間、係数1.75を変更することはなく、直近2年は1.75+0.5と1.75を固定するような会社の回答でしたが、今回は係数2.0という回答を引き出す事ができました。

働くものの団結で生活と権利を守り
平和と民主主義、中立の日本をめざそう


第90回

メーデー

WORKERS OF THE WORLD, UNITE!

2019.5.1 WED 代々木公園

開場/9:00 開会/10:00 パレード/12:20

8時間 働いて普通に暮らせる賃金 

公正なワークルールを

今すぐどこでも最低賃金 ¥1,500

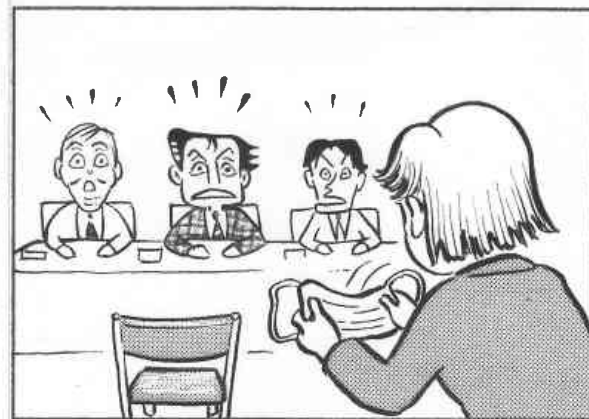
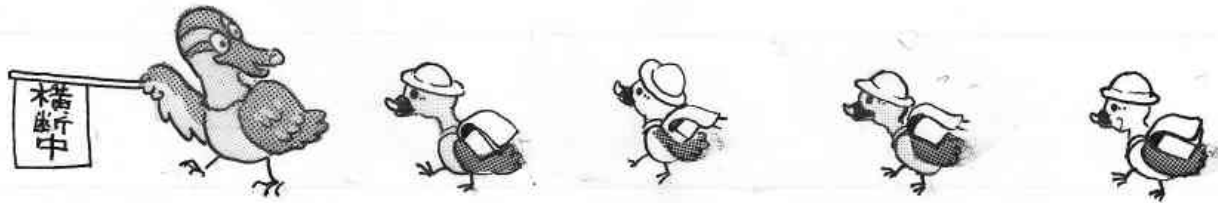
STOP 10% 消費税
年金・医療・介護の充実

9条改憲阻止
PEACE
We Want



辺野古新基地
建設反対
NO BASE
in Okinawa

原発ZERO 
再生エネルギーへの転換



ショートショート

花見日和

仙洞田一彦

午後一時に約束があったので、家を十一時半に出た。順調に行けば、約束の時間の十五分くらい前に着く。電車はしばしば時間調整をする。人身事故ならアウトだが、後から来る電車が遅れていると、一分くらい余分に停車したりする。それでも十五分の余裕があれば充分だった。

晴れて風もなく穏やかな日で、テレビではどこのチャンネルでも花見日和だと言っていた。そう言われたって、花見を楽しんでいられる人ばかりではないのだ。

選りによって、ストレスのたまる仕事の予定が入って

て、「花見日和」を繰り返すアウンサーに、「世の中、お気楽な人ばかりではないんだ」と、内心悪態をつけていた。

もしものトラブルに備えて、役立ちそうな参考書を鞆に詰め込んだ。いつもなら駅まで歩くのだが、鞆が重いのでバスにした。停留所で待たされたにしても、バスで行った方が駅には早く着くが、健康のためには歩いた方がよい。それほど待たされずにバスが来た。駅前の終点まで入れて、停留所は四つある。ところが二つ目の停留所を出てすぐ、道路の中央に向かってバスが動き出したところで止まった。運転手が前の乗降口を開けた。見ると視線の先に、豆電球のようなものが見えた。見慣れないのでよく見直すと、

方向指示器のカバーが割れてしまつて中が見えていた。その先にタクシーの後部が見えた。タクシーの後ろにぶついたらしい。

バスを止めたままの状態で、運転手は運転席からどこかと話しをしている。事故の連絡をして、指示を受けているようだ。

「けがをした方はいませんか」
運転手は運転席の上にある鏡を見上げて、マイクで言った。それから体をねじつて車内に目をやった。立っている人もいたが、誰も返事をしなかった。

「けがをした方はいませんか」
運転手はもう一度言つて、座席を見渡してから「いないようです」と、電話だか無線だか分からないが、そちらに答

えていた。

停留所から動き出してすぐだからスピードは出ていない。倒れたり、ぶつかったりした人はいなかったのだろう。

運転手のやり取りが、細切れに聞こえてきた。後から来るバスに乗客を乗せるように指示しているらしい。話が終わると、運転手は乗降口を開けたままゆっくりバスを動かし、タクシーの前に出て道路の端にバスを寄せて止めた。乗客に何か指示があるのかと思つたが、運転手は何も言わずにバスから降りてしまつた。

自分の乗つたバスが事故を起こしたなんて初めてのことがあった。満員ではないが座席が埋まるほどには乗客があつた。でも中は静かだった。

「どうなるんだ」とか「どうすればいいのだ」などという声も出ない。

乗客の一人が、バスから降りて行った。それを機に客は次々に降りて行った。終点まで停留所はひと区間と少しあったが、駅まで歩いてもたいしたことはない。そう判断したのだろう。と、他人ごとのように言うが、わたしも約束の時間にゆとりはあるといっても、それほどゆつくりはしてられない。鞆は重いが、歩こうかと思った。しかし携帯電話があるので、乗っていたバスの事故で遅れるという連絡を入れる手もある。バスの中に残っていて後から来たバスに乗れるとしても、「けがはありませんか」とか、事故の内容とかも聞かれそうで、

何となく面倒くさそうな気もする。止まっているところから駅までの距離を考えると、降りて歩いた方がよさそうだし立ち上がって出口に向かう時に、小さな子供に母親が言っている言葉が聞こえてきた。「待っていきましょうね。急ぐ用事もないし、どうなるのか興味もあるし」

言われた子供は幼く、母親の言っている意味は理解しそうでない。でも母親の言うことに肯いていた。約束の時間があるのだから急がなくていいということはないが、連絡すれば融通の利かない相手ではない。一生に一度あるかどうかの出来事だから、たしかにどういう展開になるか興味はある。たいしたことはないだろうが、どう

なるのだろうか。自分が言われたわけではないが、一瞬の迷いがあつて足を止めたが、わたしはバスを降りた。

降りてうしろを見ると、バスの運転手は、タクシーの運転手と話をしていた。離れているので会話は聞こえない。穏やかな春の日差しがそそぐ真昼時、何を見てもホッと一息という感じ。そのせいかのんびりと会話を交わしているように見える。

こちらから見えるのだから、バスの乗客が次々と降りて行くのも、運転手には見えているだろうと思った。気になっっているはずだから、まったく見ないということはないだろう。しかし、気にしている様子はない。無論外見、しかもバス一台分の距離のところか

ら見ての話だから、当事者同士真剣だったかもしれない。

ま、けが人はないし、駅までそれほど距離でもないし……桜の花びらに、力強さを増した春の陽があたり、キラキラしている。そんな歩道の桜を見物しながら……ね、ね。

始発の駅前停留所では、事故で止まっているバスが、折り返し乗せて行くのだろうと思われる乗客の列がいつになく、長く、長くなっている。

「事故で、バスは当分来そうもありませんよ」

待つ人たちに教えた方が親切かなとも思ったが、それはバス会社の仕事で、越権行為だなどと言われてもたまらない。停留所から見える駅前の桜も見事満開だし、黙って駅に向かって歩いていった。

消費税増税中止を！

1989年4月1日に消費税が導入されて、30年が経ちました。導入時の3%から1997年に5%、2014年に8%、今年10月には10%に上がると言われています。

消費税の増税は、「財政再建のため」「社会保障の拡充のため」と言われますが、財政も社会保障も悪化の一途をたどっています。

消費税が導入された当時、国と地方を合わせた長期債務は246兆円でした。30年後の今、長期債務は1050兆円になっています。

社会保障も改悪の連続で、年金の支給開始年齢繰り延べ、医療費や介護保険の負担増、

生活保護の削減と悪くなる一方です。

財政と社会保障が悪化してきた原因は、消費税増税のたびに消費不況が繰り返され、経済が長期に低迷してきたからです。さらに、大企業の法人税の税率引き下げ、所得税の最高税率引き下げで大企業と富裕層を優遇してきたからです。

消費税を負担するのは消費者です。大企業は消費税をすべて価格に転嫁でき、負担せず済みます。

いま、消費税増税前に飲食料品値上げの発表が相次いでいます。牛乳や即席麺、清涼飲料、冷凍食品など業界団体ごとに主要企業が横並びで飲食料品を値上げする事態となっています。値上げが発表されている飲食料品は、消費税

増税が強行されても、税率が8%に据え置かれる可能性が高いものばかりで、値上げ幅は2〜20%にも及びます。これで消費税が増税されたら、国民には二重の負担増になります。

低所得者ほど負担が重いのが消費税です。大企業や富裕層に適切な負担を求めれば、消費税を増税しなくても財源を作ることは可能です。消費税10%増税の中止を！



労働相談、ご意見、ご質問は、下記にお寄せください。

JMITU 本部 TEL 03-5961-5601 : FAX 03-5961-5603

ホームページ <http://www.jmiu.com/>

JMITU 大田地域支部 TEL 03-3734-3502 : FAX 03-3734-3534

ホームページ <http://www6.plala.or.jp/JMIUOOTA/>

セガグループ分会ホームページ <http://jmitusega.chips.jp/>